

## 東京港のレストラン船「レディ・クリスタル」に乗る

事務局長 池田良穂

先週末の金曜の夕刻、東京で開催された日本外航客船協会の小畑事務局長の送別会に出席しました。会場は天王洲アイルにある「ザ・クルーズクラブ東京」のクラブハウスレストランで、60人余りのクルーズ業界関係者が集まった和やかな会でした。このザ・クルーズクラブ東京は、レストラン船「レディ・クリスタル」を運航する日本郵船グループの会社で、かつてはクリスタルヨットクラブという会社名でしたが、クリスタルクルーズが日本郵船の手から離れた時に名前を変えたようです。レストランでの一次会が終わった後は、21時半出港の「レディ・クリスタル」のナイトクルーズで二次会という企画でした。

さて、周知の通り「レディ・クリスタル」は、日本郵船がクルーズ事業に進出した時に、「クリスタル・ハーモニー」、「飛鳥」、「フロンティア・スピリット」と共に建造した客船の1隻で、東京港でのレストラン船として1990年にデビューしました。この4隻の中では最も小型だったので、松竹梅の下の「小梅」と呼ばれたりしました。建造は佐世保の前畑造船で、346総トンで、旅客定員は196名です。

これまで一度だけ乗船したことがあり、それは谷口会員の結婚披露パーティが同船上で開催された時でしたので、以来20数年ぶりの本当に久々の乗船でした。

この日のナイトクルーズは1時間の短いクルーズでした。乗船すると若いカップルが結構たくさん乗っているのに驚きました。このナイトクルーズは時間も短く、飲み物だけの船旅だったので、翌日、19時発のディナークルーズにも乗船することにしました。昼間のランチクルーズでもよかったのですが、昼だとすれ違う船や停泊船に気が気でなくなってしまう、ゆっくりと食事ができないので、暗くなってからのクルーズにしました。食事はフランス料理のフルコースで、シャンペンとワインもとって、前菜、スープ、魚介料理、肉料理、デザートとゆっくりと楽しむことができました。ベイブリッジ、東京港のコンテナターミナル、そして羽田空港沖で折り返す約2時間のクルーズが堪能できました。



一次会の冒頭の池田前事務局長(左)と、挨拶をする前日本外航客船協会の山口会長。



「レディ・クリスタル」。以前は橋を渡った対岸に乗場がありましたが、今は天王洲アイルの第1ホテル側に棧橋が移って便利になりました。



昼間に撮影した「レディ・クリスタル」です。乗り場は、モノレールの天王洲アイルに隣接していて便利な場所です。



18時半からディナークルーズの乗船が始まりました。天気は、今年初の台風の余波で雨模様でしたが、風はなく静かな海上でした。



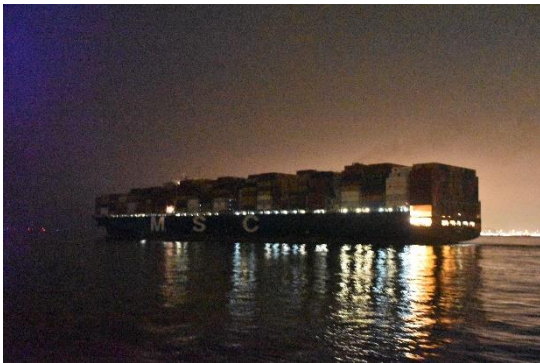
船内は2層にレストランがあり、テーブルはほぼ埋まっている状態でした。この日のディナークルーズも若いカップルが一杯。東京はミニバブル期(?)の到来なのかも・・・、とってしまいました。







前菜、スープ、魚介料理、肉料理、デザートフルコースでした。



食後にオープンデッキにでると、東京港を出港する巨大コンテナ船「MSC マジェスティ」と出会いました。